かまくらの不思議を歩こう ⑰

パワーアイランド江の島

大貫昭彦

＊大根師は脇役　天地人を貫く霊力を求めて、寺や社などを探索する「大根会」のお参り風景から紹介しましょう。

2017年12月の会は江島参りでした。人数は20人。湘南モノレール江の島駅集合。2カ月に一回ほどの会ですから、まずは再会の喜び、お互いの挨拶などでひと賑わい。この時の大根弘行師は、隅に追いやられた存在です。賑わいが一段落して出発。雪の丹沢、箱根の山並みを望みながら弁天橋を渡りました。

＊江島大神　最初は橋を渡って左の江島大神。土産店や食堂の並ぶ先にあります。社殿は新しくなった社ですが、島内三社の神を一堂に祭っています。三社とは辺津宮、中津宮、奥津宮。祭神は天照大神の三女神で、海上安全の神として信仰されています。江島大神は、漁師が出港前に手を合わせる社です。

＊お参りの作法　会の一行は、鳥居の左手前で一礼、潜ってもう一度礼拝、手水舎があれば禊をしますが、ここは略して社殿に向かいました。参道は、原則左側通行です。中央は神の道です。社前に着いて二礼二拍手一拝。「住所、名前も申し上げ、今日お参りに来られたお礼も伝えましょう」と、大根師の声。参拝の後、パワースポット探しです。

＊江島大神のタイル　境内にはタイルが敷かれています。大根師は、その中から社の手前、8枚目のタイルを指さしました。強いエネルギーを感じるといいます。そこに立って、姿勢の揺らぐ人がいます。浄化される時、体は揺れるそうです。社の前、左に一枚寄ったタイルもスポットのようです。機会があったら、足を運んで確かめてください。

＊福石の感触　次に訪ねたのは辺津宮の下にある福石です。牛に似た石は、鍼治療で出世した杉山和一ゆかりの史跡です。和一は辺津宮に断食参篭し、満願の日に石に躓き、松葉と竹の筒を拾いました。その閃きによって鍼の技術を考案し、将軍徳川綱吉から惣検校職と屋敷を賜り、鍼治療の学校を開きました。

しめ縄越しに手をかざすと、ピリピリという感触があるといいます。また、ここで物を拾うと、縁起がいいそうです。是非、訪ねたいパワースポットです。

＊災いを払う「辺津宮」　辺津宮もエネルギーが溢れる社のようです。特に強い所は、賽銭箱の左手前、池の右にある龍の造り物の正面、弁財天像を祀る奉安殿入口の右手前、秋葉神社の賽銭箱の前などです。祭神の田寸津比売命は、荒ぶる玄界灘を象徴する神、災いを払う力が強いと信じられています。「たきつ」は「激つ」に符合します。

＊清めの社「中津宮」　中津宮の祭神は市寸島比売命です。「いちき」は「いつく」、清める意の「斎く」に通じます。明治初年までは弁天社でもあったので、芸能界の人も信仰した社です。

パワースポットは賽銭箱の右横と社殿の裏にある水琴窟の前。水琴窟の2m手前、敷石辺りが結界で、空気が変わるといいます。鈍感な者も、風を感じました。

＊本宮の重み「奥津宮」　奥津宮は、江島三社の本宮岩窟の御旅所です。祭神は長女の「多紀理比売命」。「たきり」は「霧を晴らす」に通じ、海上安全を守る神です。

パワーは力石と本殿隣の龍宮大神の左手前が強いと指摘されました。江ノ島は、古く龍神が降臨し、行基、泰澄、空海などが参詣したという縁起に彩られた島です。天地の力に人の歴史を織り込んだ霊跡、パワーアイランドです。

▼次回の大根会「鎌倉パワースポット巡り」は、10月21日（日）鎌倉市材木座の光明寺から小坪方面を歩きます。

午前9時半、鎌倉駅西口の時計台下集合。参加費千円。定員20人。

ごいっしょに鎌倉の不思議を体験しませんか。申込は石渡さん☎090・3138・7271

江島大神

福　石

辺津宮

9月1日は「防災の日」

災害に備えて

市民団体が警備・防犯のマニュアルを作成

鎌倉を中心に防犯活動を行う市民団体「鎌倉ガーディアンズ」（大津定博代表）が9年間の警備や防犯活動の実績を基に1年半ほど前から作成に取り組んでいたマニュアルが完成し、7月中旬、鎌倉市に寄贈した。

マニュアルはA4判36㌻で、警備の心得、事故・災害時の対応、救急法などが明記されている。東京五輪・パラリンピック開催を見据えての車いす利用者や、外国人観光客への対応も盛り込んだ。

大津代表は「自治会の地域のパトロールなど広く活用してもらいたい」と話す。藤沢市や国にも提出を予定している。

西日本豪雨災害の広島訪問

車で山陽自動車道を走り広島に近づくと、山肌にがけ崩れが方々見られる。7月6日夕方から7日明け方に降り続いた豪雨が、平成最悪の豪雨被害を招いた。私は市内東側の最も被害の大きい矢野地区に数度赴き、ボランティアをしながら被災地の状況を見聞した。

土砂は1m以上も積もっている。それを撤去するのは家族だけでは無理である。加えて災害級の猛暑が襲う。ボランティアは土砂をかき出す作業中、被災者に声をかけ会話を優先する。それが被災者の心のメンテナンスに繋がる。

矢野小学校の広本典子校長と遭遇した時、先生は校庭の土砂の撤去が始まるので挨拶状を配っていた。大量の土砂が山から流れたが中腹にある校庭が土砂を受け止め、犠牲者が少なくてすんだと言う。小学校と、隣接の幼稚園には2m近い土砂がグラウンドを覆っている。9月の始業式までに撤去は間に合わない。

8月6日、私は広島県社会福祉協議会に赴き、衣笠常任理事に義捐金を渡した。7月28日に広島県人会鎌倉が大船駅街頭の募金活動で集めた15万3531円、全額だ。

「遠方からの支援金は本当にありがたい。うれしい」と感謝された。衣笠氏の話では、広島県のボランティア数は現在、見込みの2割程度しか集まっていないと言う。

今回実感したのは、自分の命は自分で守るということ。行政の対応には限界がある。土砂災害は瞬時に起きる。情報に耳を傾けて早めの避難が鉄則だ。被災者に寄り添うというのが鎌倉ガーディアンズの基本方針で、今後もできるだけの支援を模索していきたい。

（鎌倉ガーディアンズ代表　大津定博）

広島市安芸区災害ボランティアセンター

鎌倉と七ヶ浜の生徒が意見交換

第4回中学生防災サミット

第4回鎌倉市中学生防災サミットが8月11日鎌倉大仏殿高徳院で、開催された＝写真。

今年は9校26人の市内在学在住の中学生が公募で集まり、宮城県七ヶ浜町から訪れた中学生と地元の防災を考えた。

東日本大震災の被災地岩手県釜石市からは旅館「宝来館」おかみの岩崎昭子さんが講演。津波に流され九死に一生を得た経験から「逃げたら戻ってはいけない、戻った人間は戻れなくなる」と語りかけた。東松島市で語り部活動をする大学生の添田あみさんと小川綾さんは小学生時に経験した震災の思いを語った。

そのあと生徒たちはグループに分かれ感想を話し合い、災害に備えるためには何をしたら良いか意見を出し合った。最後に一人ずつ今すぐ自分にできる事を「僕や私の防災アクション」として発表、「地域の人と日頃から仲良くし、震災が起きたら一緒に協力したい」などが発表された。

福島の被災者を鎌倉に招待

地元高校生らと交流

東日本大震災の被災者を鎌倉に招待する未来・連福プロジェクト（齊藤美代子代表）の「建長寺で合いましょう！」の催しが8月4日から3泊4日で行われた。今年で8回目で、今回は東京電力福島第一原発事故から約7㌔の福島県富岡町から百人が参加。北鎌倉の建長寺を拠点に市内観光や海水浴などに出かけ、夜は歓迎会や雅楽演奏会などの余興が行われた。

観光案内や食事作りなどはすべて同会が募ったボランティアが担当。滞在費などは事前にチャリティーコンサートやお茶会などを行い、その収益で賄われた。

3日目は新江ノ島水族館を見学後、鎌倉大仏殿高徳院で逗子開成高等学校和太鼓部（奈良和真部長）の2年生ら23人が腹掛け、股引、白足袋姿で猛暑を吹き飛ばすような力強い和太鼓の演奏を披露した＝写真。

毎年町民を招待してくれるお礼を言うため駆けつけたという福島県大熊町の武内敏英教育長は「震災を忘れてもらいたくない。これからも大変な日々が続くと思うが共にがんばりたい」と挨拶。

齊藤代表は「心の復興支援を掲げながら活動を続けるのでまた鎌倉に来てほしい」と激励の言葉を贈った。

明治37年創立
学校法人　鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電　話(0467)25-2100(代表)

生徒募集～幼児から大人まで～　駐車場あり
鎌倉みどり音楽院　昭和27年創立
◉ピアノ科
◉声楽科
◉受験科
♪幼児音感クラス
♪小学生のソルフェージュ
☎0467-22-2705
鎌倉市材木座2-6-18
バス 水道路・長勝寺下車 徒歩2分

鎌倉ギター教室
教室：鎌倉婦人子供会館　☎ 0467-22-0507
◆ 初心者・子供から大人 / レッスン日：火曜～土曜日
◆ クラシックギター専科
問い合わせ　☎ 0467-22-2336

鎌倉といえば・・・
鳩サブレー
豊島屋
http://www.hato.co.jp